



☆ 今回も数教育についてお話ししましょう。

この年齢の子どもたちは、教えること自体が楽しく、大人なら見ただけで面倒に思ってしまうような事でも、楽しくてたのしくて、時間を忘れてしまうほど熱中します。


数えたくて仕方がない「数の敏感期」にいる子どもに遊びながら楽しく数えることのできる具体的な教具が数教育の教具といえます。

それは、ただ、教えることではなく、見て  触る  を繰り返すことで、体の中に記憶されます!!

◎ モンテッソーリの数の学習は、抽象を教具という具体物を通してことによって、実際に目で見て、触って確かめられるように工夫されています。



清心幼稚園のお部屋の中にもたくさんの数教具があります。
その中からいくつかご紹介しましょう。

- 赤と青の数棒
- 砂数字板
- つむ棒箱
- 数字と玉
- 十進法の紹介
ビーズ
カードの紹介
- 十進法の機能
- 銀行あそび
- 数遊び 



つむ棒箱

☆ 適応年齢……数の棒と数字カードの活動をおえた子となるので4歳～5歳

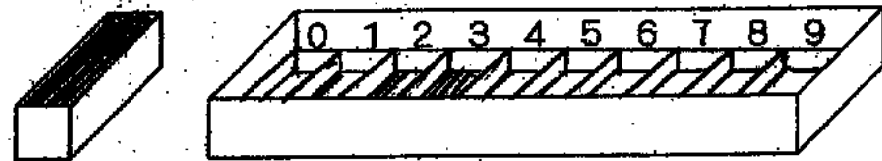
<紹介方法>

① 数字の確認

1～9までの数字を指差し、読む。
最後に0を示して読み、0を強調しておく。

② 数字に合う数の棒を入れる

最後のつむ棒箱が余ったり、逆に足りなくなったりすれば、どこかで自分で間違えに気づくよう工夫されています。



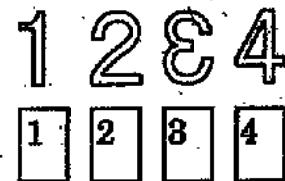
数字と玉

☆ 適応年齢……つむ棒箱の活動をおえた子となるので4歳～5歳

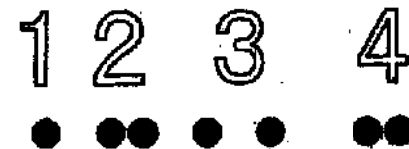
<紹介方法>

① 数字を正しく並べる

切り抜き数字なので裏返したら鏡文字になる。
並べたあと、数字のカードを自分で数字の下に置くので、間違えに自分で気づく。

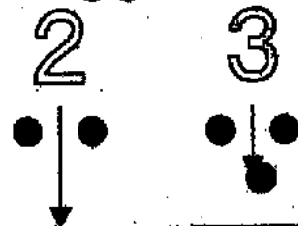


② 数字に合う玉を並べる



③ 指を通す

例えば、偶数の場合、玉と玉の間を指が通り、
奇数の場合、玉と玉の間を指が通りません。



生きていく上で、数とは無縁ではられません。数との出会いにおいて、よりよい生き方が出来たら、どんなに素晴らしいでしょう。
そういう場がモンテッソーリ教育の中にあることを確信をもって言う事ができます。